

Ciné-là

NEWS

VOL.330

シネラ・ニュース

Fukuoka City
Public Library
Movie Hall
Ciné-là

9

September, 2025

【通年上映】

アーカイヴ発見
午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス



赤ずきん 撮影:田村尚子

戦後80年:アジアと日本と戦争

第3期:その後のアジア、戦争の傷跡

アーカイヴ・コレクション Part 20

青山真治 短編・ビデオ作品アーカイヴ特集

《青山真治と音楽》

【料金】 〈青山真治 短編・ビデオ作品アーカイヴ特集〉

大人=600円/大学生・高校生=500円/中学生・小学生=400円

福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員/障がい者の方および介護者の方1名=300円(要証明書・会員証原本提示)

〈戦後80年:アジアと日本と戦争〉〈アーカイヴ発見〉〈午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス〉

大人=500円/大学生・高校生=400円/中学生・小学生=300円

福岡市在住の65歳以上の方・わたすクラブ会員=250円(要証明書・会員証原本提示)/障がい者の方および介護者の方1名=無料(要証明書提示)

□ 定員(242席+車椅子席4席)・各回入替制/当日券のみ・各回上映の1時間前から販売(上映開始の30分後まで)

fiaf

【国際フィルム・アーカイヴ連盟】
FIAFは映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

戦後80年：アジアと日本と戦争

第3期：その後のアジア、戦争の傷跡

戦後80年の節目に、日本とアジア各国の双方の視点から戦争を見つめます。

9月4日[木]～9月7日[日]、9月10日[水]～9月15日[月祝]、9月18日[木]～9月21日[日]

◎すべて福岡市総合図書館収蔵作品・特に表記のないものは35ミリフィルム上映

血と祈り The Long March

4 [木] 13 [土]
14:00 14:00



1948年12月。インドネシアはオランダとの独立戦争を戦っていた。中部ジャワに駐屯していたシリワギ部隊は西ジャワへ戻るように命令を受ける。隊長スダルトと彼の部隊の人間模様を描く。本作はインドネシア政府が認める最初のインドネシア映画でもある。※本作は途中、音声と映像がずれている箇所があります。ご了承ください。

1950/インドネシア/白黒/129分/日本語字幕付き
監督:ウスマル・イスマイル 出演:デル・ジュザン、ファリダ

廃墟からの旅立ち The Ruins

5 [金] 13 [土]
11:00 11:00



朝鮮戦争から負傷して帰還したヴィクトールは、仕事もままならず厭世観にとらわれてしまう。クラブで働くティタはそんな彼の面倒をみる。ティタたちは廃墟となった教会に暮らしていたが、役所から教会の取り壊しのために退去命令がでるのであった。イタリアのネオレアリズモを彷彿とさせるタッチの作品。

1956/フィリピン/白黒/120分/日本語字幕付き/16ミリフィルム上映
監督:ランベルト・V・アベラーナ 出演:トニー・サントス、ローザ・ロサル

トゥー・ハウ Mrs. Tu Hau

4 [木] 15 [月祝]
11:00 11:00



抗仏戦争時代。助産婦のトゥー・ハウは、敵の士官に犯されてしまう。彼女は自殺を考えるが思いとどまり、そして、夫の死後、ゲリラとなって戦うのだ。モスクワ映画祭で銀賞を獲得し、ベトナム映画が初めて国際映画祭で受賞した作品となる。ベトナム映画史初期を語るとき欠かせない作品。

1963/ベトナム/白黒/78分/日本語字幕付き
監督:ファム・キーナム 出演:チャー・ザン、パー・ズー

サンダカン八番娼館・望郷 Sandakan No. 8

10 [水] 20 [土]
14:00 14:00



女性史研究者・三谷圭子は天草に「からゆきさん」の調査にやってくる。彼女は老婆サキと出会い、サキの家で寝食を共にし、やがてサキは自らの過去を語り始める。明治終わりから第1次世界大戦にかけて娼婦として南洋に送られた女性たちを描いた感動作。サキを演じた田中絹代はベルリン映画祭銀熊賞(女優賞)受賞。

1974/日本(東宝・併優座)/カラー/121分
監督:熊井啓 出演:栗原小巻、田中絹代、高橋洋子

おかあさんはおるす While the Mother is Away

11 [木] 14 [日]
14:00 11:00



ベトナム戦争時代のメコンデルタに、母親と5人の子どもが暮らしていた。母親は合図があるところかへ出かけてしまう。その間10歳の長女ベーを中心に子どもたちだけの生活が始まる。描かれるのは子どもたちの悪戦苦闘しながら生活する様子で、切なさや愛しさに満ちたベトナム映画の名作の1本。

1979/ベトナム/白黒/65分/日本語字幕付き
監督:クエン・カイン・ズー 出演:ヴァン・ズン、ホン・ズエン

はじけ鳳仙花 一わが筑豊 わが朝鮮 12 [金] 21 [日]

12 [金] 21 [日]
11:00 11:00



本作は、画家の富山妙子の原案によるもので、彼女が制作する作品を中心に描いたドキュメンタリー。日本に連れてこられた朝鮮人炭鉱夫を描いたリトグラフの制作風景。彼女の作品を使って、名もなき朝鮮人炭鉱夫の物語を語る「身世打鈴」などが挿入される。彼女の創作世界を映画は様々な観点から表現する。

1984/日本(幻燈社)/カラー/48分/16ミリフィルム上映
監督:土本典昭

太白山脈 The Taebaek Mountains

5 [金] 21 [土]
14:00 14:00



日帝時代が終了してから、1950年に朝鮮戦争が始まるまでの混戦時代を描いた巨匠イム・グォンテク監督作品。韓国南部の郡ブルギョを舞台として政府軍と共産勢力の争いが展開される。イデオロギーに翻弄された民族の悲しみを描き出し、イム監督が鎮魂の想いを込めた傑作。

1985/韓国/164分/カラー/日本語・英語字幕付き
監督:イム・グォンテク 出演:アン・ソンギ、キム・ミンゴン

ゆきゆきて、神軍 The Emperor's Naked Army Marches On

6 [土] 19 [金]
14:00 14:00



奥崎謙三は、第二次大戦中ニューギニアに派遣され、千数百名の兵士の中で生き残った30数名の一人となった。戦後奥崎は天皇の戦争責任を叫び、活動を続ける。戦争という極限状態の中での人間の在り方などを問ひかける奥崎の行動を本作は記録し、日本映画監督協会新人賞など多くの映画賞を受賞した衝撃作。

1987/日本(疾走プロダクション)/カラー/121分
監督:原一男

レッド・ロータス Red Lotus

6 [土] 12 [金]
11:00 14:00



第二次大戦後ラオスでは、共闘していた独立運動家たちが二派に分裂した。本作は1975年のラオス愛国戦線による全土解放前夜を描いている。主人公はブアデー(赤い軍)という名前とヒロインであり、彼女の母親は王国政府側の政治工作員と再婚してしまう。そして、ブアデーにも結婚を押しつけようとする。

1988/ラオス/白黒/83分/日本語・英語字幕付き
監督:ソムオック・スッティボン 出演:ウォンツァン・ボンサワン、ソムチット・ウォンサムアーン

バナナパラダイス Banana Paradise

7 [日] 18 [木]
14:00 14:00



1949年。門栓と徳勝という二人の国民党兵士が台湾にやって来る。二人は元農民で政治的な信念などなかった。徳勝は、共産党員と疑われて拷問され気が狂う。門栓は、軍隊を逃げ出し身分を偽って暮らしていく。本作に登場する兵士の運命は台湾の歴史そのものである。名匠ワン・トン監督の代表作で、台湾映画の傑作。

1989/台湾/148分/カラー/日本語・英語字幕付き
監督:ワン・トン 出演:ニュー・ツェンズ、チャン・シー

空白のページ White Page

7 [日] 15 [月祝]
11:00 14:00



70年代後半、クメール・ルージュの幹部を夫にもつワスナーはパリから帰ってくる。空港に着くと、兵士たちにキャンプと呼ばれる村に連れていかれる。村では、アンカーと呼ばれる神のようなものが信奉されていた。ポル・ポト政権での徹底的な共産主義政策の実態を初めて描き、世界中の映画祭で衝撃を与えた。

1991/カンボジア/イス/カラー/99分/日本語・英語字幕付き
監督:ホークアン・ミン 出演:ファン・デッサン、ワン・ティエ

蟻の兵隊 The Ants

11 [木] 14 [日]
11:00 14:00



終戦時、中国国民党系の軍閥と密約を交わした日本軍司令官の命により、山西省にいた日本軍59,000人のうち2,600人が残留兵として中国に残り、3年間にわたり国民党兵として共産党軍と戦った。帰国後、日本政府は、軍籍を抹消し、逃亡兵として恩給の支払いを拒む。残留兵のひとりとして問題の真実を追い続ける奥村和一を追う。

2005/日本(運ユニバース)/カラー/101分
監督:池谷薫

アーカイヴ発見 Discover the Archive

サイケデリックで複眼的。戦後の大きな分岐点となった時期に制作された、旅と映像的な実験を往還するおおえまさのり(1942-)の作品群を紹介します。

「おおえまさのり 略歴」1942年生まれ。1965年アヴァンギャルド・アートに魅かれて渡米。サイケデリック(魂を解き開く)・レポリーションと、拡大するベトナム戦争の渦中で映画製作。ジョナス・メカスなどとともに「Newsreel」の創設にかかわる。69年帰国後、ニューズリアル・ジャパンを創設して、活動。「反博」(大阪城公園)で「Great Society」野外上映。

企画協力:鈴木章浩(S.I.G./Inc)

◎すべてデジタル上映(原簿16ミリフィルム)/日本語字幕なし

おおえまさのり作品集A (10作品・92分)

《N.Y.サイケデリック革命の時代》

- 「Four」1966/白黒/サイレント/4分
- 「Creation」1966/カラー/5分
- 「No Game」1967/白黒/17分
- 「Great Society」1967/カラー/17分
- 「Head Games」1967/カラー/10分
- 「Between the Frame」1967/カラー/10分
- 「Yip Out」1967/カラー/2分
- 「Salome's Child」1968/カラー/6分
- 「S NO.1」1968/白黒/5分
- 「end」1968/パートカラー/16分



6 [土] 17:00

おおえまさのり作品集B (2作品・70分)

《東洋のサイケデリア》

- 「天路遍歴の神話」1970/カラー/10分
- 「リンガラジャ〜空なるものに愛に捧げる詩」1971/カラー/60分



※本編中に光が激しく明滅するシーンがございます。ご鑑賞の際はあらかじめご注意ください。

13 [土] 17:00

青山真治 短編・ビデオ作品アーカイヴ特集

《青山真治と音楽》

映画監督・青山真治が生み出した多彩な短編、ビデオ作品を上映します。

9月23日〔火祝〕、9月25日〔木〕～9月27日〔土〕

企画・協力：樋口泰人 (boid)、佐藤公美 (プランディッシュ)

◎「赤ずきん」をのぞき、デジタル上映

9月23日〔火祝〕14:00

(16:00終了予定 / イベント内容は予告なく変更になる場合があります)

「赤ずきん」上映後トークイベント+参考上映

【ゲスト】樋口泰人 (ひぐち・やすひと)

映画批評家、boid主宰、爆音映画祭プロデューサー。98年に「boid」設立。04年から吉祥寺パウスシアターにて、音楽用のライブ音響システムを使用している爆音上映シリーズを企画、「爆音映画祭」は2008年から全国的に展開中。著書に『そこから先は別世界 妄想映画日記 2021-2023』(boid)、『映画は爆音でさややく』(同)、『映画とロックンロールにおいてアメリカと合衆国はいかに関わったか』(青土社)など。



写真：栗栖文雄

赤ずきん Le petit chaperon rouge

フランスのジュヌヴィリエ国立演劇センターの依頼により、パリ郊外のジュヌヴィリエで制作された、知られざる傑作中編映画。デルフィーヌ(ジュディット・シュムラ)は銃を手にくあるものを探しにでかけるが、待ち受けていた老人(ルー・カステル)に捕まってしまう。

2008/フランス/カラー/35分/35ミリフィルム上映/日本語字幕付き
監督・共同脚本：青山真治
出演：ジュディット・シュムラ、ルー・カステル



撮影：田村尚子

23〔火祝〕14:00

June 12, 1998 at the edge of chaos カオスの縁

1978年に設立された英国の独立レーベル「レコメンデッド・レコード」を主宰し、ドラマー、パーカッショニストとして多くのバンドで活躍し、世界に発信し続けてきたクリス・カトラー(1947-)。98年6月東京での単独公演の模様を捉え、「即興」と「カオスの縁」を巡る彼の言葉と思考を記録している。

2000/日本(boid)/カラー/65分
監督：青山真治
出演：クリス・カトラー



23〔火祝〕11:00

phew video

1979年の伝説のバンド「アート・サリー」の貴重なライブ映像をはじめ、山本精一などと組んだパンクバンド「MOST」、そしてダウンザとの「Big Picture」のライブ・パフォーマンスを記録。20数年にわたる音楽活動の軌跡を振り返りつつ、新しい音楽の現在と未来を見つめる。

2001/日本(boid)/カラー/60分
編集・構成：青山真治、樋口泰人
出演：Phew, Aunt Sally, Phewバンド, Big Picture, MOST



25〔木〕14:00

海流から遠く離れて

光石研扮する新任の大学教授が、光石自身のナレーションに導かれるようにキャンパス内を彷徨ってゆく。横浜国立大学の依頼によって、建築学科のPR用に製作され短編。撮影はたむらまさき。学内の大きな実験機材や設備、建築が、光石の歩みに沿って次々と展開されていく。

2003/日本(横浜国立大学)/19分/カラー
監督・脚本：青山真治
出演：光石研



2本立て上映 26〔金〕11:00

秋聲旅日記

故郷金沢にほど近い空港に、嶋田久作演じる徳田秋聲が降り立つ。現代の金沢の風景に秋聲を配置し、大正から昭和初期にかけて発表した「挿話」「籠の小鳥」「旅日記」などを引用してゆく。本作は、堅町商店街振興組合と金沢の映画館シネモンドが企画した映画製作ワークショップの一環から生まれた。

2003/日本(徳田秋聲映像作品製作委員会)/43分/カラー
監督・脚本：青山真治 原作：徳田秋聲
出演：嶋田久作、とよた真帆、ナシモトタオ



25〔木〕11:00

すでに老いた彼女のすべてについては語らぬために

2001年の東京の風景に、中野重治や夏目漱石などのテキストの朗読が重なり、昭和天皇や幸徳秋水・菅野スガのイメージが挟まるシンボリックで政治的な野心作。「国民文化祭・くま2001 in たかさき」のために映画美学校生とともに制作。映画と文学を越境するラジカルな思考が提示される。

2001/日本/51分/カラー
監督：青山真治
出演：万田邦敏、徳田(大九)明子、西山洋一

「FUGAKU」三部作 (計119分/日本(多摩美術大学・たまふいるむ)) 26〔金〕14:00

FUGAKU1 / 犬小屋のゾンビ



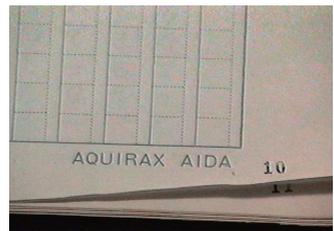
多摩美術大学映像演劇科の教授在任中に学生や教員とともに制作した『FUGAKU』シリーズ第1作。映写技師Kがエージェントに連れられ辿り着いた山奥の湖畔。「犬小屋」と呼ばれるその場所を舞台に、Twitterのbotから引かれた言葉をもとに構成された台詞、絵画など既存の言葉やイメージの引用、撮影中に導かれたアイデアがゴチャマゼに提示されてゆく。

2013/31分/カラー
監督：青山真治 出演：山本圭祐、足立理、あおやましんじ

AA 音楽批評家：間章 27〔土〕11:00 第1章+第2章

32歳で逝去した音楽批評家・間章(あいだ・あきら / 1946-78)を追ひ、批評家、音楽家、美学者たち計12人へのインタビューと演奏によって、全6部に構成された長大なドキュメンタリー映画。映画美学校・青山ゼミのメンバーと共に制作され、間章の思考と運動を多角的に捉えようと試みる7時間半の旅。

2006/日本(映画美学校・ユーススペース)/443分/カラー
監督：青山真治 インタビューア：大里俊晴
出演：大友良英、灰野敬二



13:30 第3章+第4章
17:00 第5章+第6章

FUGAKU2 / かもめ The Shots



大女優がその恋人の人気作家たちを招き、女優の息子が自作の芝居を披露する場面から始まる群像劇。チェーホフの戯曲「かもめ」を原作として、3時間近くの戯曲の台詞を40分になるまで刈りこみ、それに対応するかのように舞台美術も最小限のセットで進行することで、俳優の存在が前景化してくる。

2014/41分/カラー
監督・脚本：青山真治 出演：とよた真帆、高橋洋、あおやましんじ

FUGAKU3 / さらば愛しのeien



シリーズの最終第3作。キャンパスを舞台に「総裁」の暗殺を目論む一団が繰り広げる銃撃戦と、大学の映画祭のテーマ曲を作るために集った学生と教授の会話と並行する。キャストとスタッフが入り混じって撮影され、公式クレジットもない。タイトルに「U」を欠いたまま、未完であり続ける映画。

2015/46分/カラー
監督：青山真治 出演：小出水賢一郎、松崎翔平、坂爪健

【通年上映】

午前11時の
日本映画・アジア映画
Classicsクラシックス

収蔵作品から、日本とアジアの選りすぐりの古典映画や名作を木曜・金曜・土曜に週替わりで上映します(不定期)

清朝最後の宦官・李蓮英

Li Lianying, the Imperial Eunuch

子どもの頃から52年間、西太后に仕えた宦官・李蓮英が主人公。西太后は中国の近代化を遅らせた人物として悪名高いが、その西太后に仕えることで、宦官の長に上り詰める。時代に翻弄され、自己の保身のために命令に盲従した李蓮英の悲しい人生が淡々と描かれる。

1990/中国=香港/カラー/106分/日本語字幕付き/35ミリフィルム上映
監督：ティエン・チュアンチュアン 出演：チャン・ウェン、リュウ・シャオチン

18〔木〕11:00 19〔金〕11:00 20〔土〕11:00



1 [月]	休館日		
2 [火]	休館日		
3 [水]	休映日		
4 [木]	11:00 ◆トゥー・ハウ	14:00 ◆血と折り	
5 [金]	11:00 ◆廃墟からの旅立ち	14:00 ◆太白山脈	
6 [土]	11:00 ◆レッド・ロータス	14:00 ◆ゆきゆきて、神軍	17:00 ★おおえまさのり作品集A
7 [日]	11:00 ◆空白のページ	14:00 ◆バナナパラダイス	
8 [月]	休館日		
9 [火]	休映日		
10 [水]	14:00 ◆サンダカン八番娼館・望郷		
11 [木]	11:00 ◆蟻の兵隊	14:00 ◆おかあさんはおるす	
12 [金]	11:00 ◆はじけ鳳仙花 —わが筑豊 わが朝鮮—	14:00 ◆レッド・ロータス	
13 [土]	11:00 ◆廃墟からの旅立ち	14:00 ◆血と折り	17:00 ★おおえまさのり作品集B
14 [日]	11:00 ◆おかあさんはおるす	14:00 ◆蟻の兵隊	
15 [月祝]	11:00 ◆トゥー・ハウ	14:00 ◆空白のページ	
16 [火]	休館日		
17 [水]	休映日		
18 [木]	11:00 ☆清朝最後の宦官・李蓮英	14:00 ◆バナナパラダイス	
19 [金]	11:00 ☆清朝最後の宦官・李蓮英	14:00 ◆ゆきゆきて、神軍	
20 [土]	11:00 ☆清朝最後の宦官・李蓮英	14:00 ◆サンダカン八番娼館・望郷	
21 [日]	11:00 ◆はじけ鳳仙花 —わが筑豊 わが朝鮮—	14:00 ◆太白山脈	
22 [月]	休館日		
23 [火祝]	11:00 ◆June12, 1998 at the edge of chaos カオスの縁	14:00 ◆赤ずきん +上映後トークイベント+参考上映 ゲスト:樋口泰人	
24 [水]	休映日		
25 [木]	11:00 ◆秋聲旅日記	14:00 ◆pnew video	
26 [金]	11:00 ◆海流から遠く離れて ◆すでに老いた彼女のすべて については語らぬために	14:00 ◆FUGAKU 三部作	
27 [土]	11:00 ◆AA 音楽批評家:間章 第1章+第2章	13:30 ◆AA 音楽批評家:間章 第3章+第4章	17:00 ◆AA 音楽批評家:間章 第5章+第6章
28 [日]	[自主上映] 福岡映画サークル協議会		
29 [月]	休館日		
30 [火]	休館日		

◆=[企画上映] 戦後80年:アジアと日本と戦争 | 第3期:その後のアジア、戦争の傷跡
 ◆=[企画上映] 青山真治 短編・ビデオ作品アーカイブ特集《青山真治と音楽》
 ★=[通年上映] アーカイブ発見
 ☆=[通年上映] 午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

[10月のシネラ上映予告]

フィリピン TBAスタジオの軌跡
 アジアの女性映画監督再考 第7期:ベトナム

[自主上映のお知らせ]

福岡映画サークル協議会

上映作品:『型破りな教室』

(2023 / メキシコ / 125分 / 監督:クリストファー・ザラ / PG12)

日時:9月28日 [日] ①11:00 ②14:00

料金:当日一般1,500円/前売り1,300円/シニア1,200円*/

障がいのある方1,000円*/中高生800円*

主催:福岡映画サークル協議会 | TEL:092-781-2817

※当日のみ/詳細については主催者へお問い合わせください。

Column

北九州・門司出身の青山真治(1964-2022)は、「EUREKA ユリイカ」(2000)をはじめ、傑出した映画を多数監督し、同時代の映画史に大きな足跡を残しました。今、青山さんの監督作品のなかでも、これまで限定的にしか見られる機会がなかった作品群のアーカイブを総合図書館では進めています。

青山さんは映画監督、脚本家、小説家、批評家、音楽家、舞台演出家、大学教授と、いくつもの顔をもっていました。晩年に至るまで空気を吸うように、古典から現代作品まで映画を見続け、音楽を聴き、本を読み、舞台上に足を運び、縦横無尽に構想し、密度の高い作品を生み出す博学の人でした。先人たちの、あらゆる作品へのリスペクトが桁違いに高い作家だともいえます。映画作家の独創性は、必ずしも内発的な創作意欲だけに支えられるものではありません。該博な知識を得つつ絶えず更新し、接ぎ木をすることのできる才能が、青山さんを独自の表現者たらしめています。

異なる表現ジャンルと往来してきた青山さんを「映画界の巨匠」と呼ぶことには、どうもじっくりこない気がしています。多くの作品を発表し続けていた1990年代から2010年代は、映画は、フィルムからデジタルへと大きく変化していった期間で、機材が簡素化し、大人数の撮影体制に限らず、少人数のスタッフで機動性の高い制作が実現できるようになります。こうしたことも背景に、学生らとともに制作した作品が多く生まれました。そうした「小さな」作品には、だからこそ、その時々のご思考と試行の積み重ねが、率直に提示されています。特に、映画をつくる人にとってはヒントになる要素が散りばめられています。

まだそのすべてを網羅できているわけではありませんが、まずは、その第一弾を紹介します。「青山の作品群を福岡市総合図書館にアーカイブしよう」と声を挙げてくださった発起人で、青山さんと伴走し続けた樋口泰人さんによるトークも催す予定です。「巨大な木のような青山真治の作品」とは、樋口さんの言葉ですが、その一端に触れてみてください。(学芸員・杉原)



[交通アクセス]

当館の駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。市営地下鉄/西新駅または藤崎駅下車徒歩15分 西鉄バス・博多駅、天神、西新から福岡タワー南口または博物館南口下車徒歩5分・藤崎駅から福岡タワー南口下車徒歩5分 ◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時刻、お近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話:050-3616-2150)へお問い合わせください。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la
 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
 (代表) TEL: 092-852-0600 | FAX: 092-852-0609

うえぶシネラ = <http://www.cinela.com> =>

発行:映像ホール・シネラ実行委員会
 グリーン購入法に適合している用紙を使用しています

助成: NCF 公益財団法人 西日本シティ財団

